

就業体験成果や課題共有

宮崎公立大3年生報告会

宮崎公立大の学生による長期インターシップを
企業インターシップの成
果報告会は、宮崎市の同大
であった11写真。3年生27
人が、受け入れ先での接客
やイベント企画などから得
た経験や課題を発表した。

同大では、地域の課題解
決と学生のキャリア支援を
目的に、2022年度から



長期インターシップを選
択科目に取り入れている。
選択した学生は毎年6、9
月に受け入れ先で実習。こ
れまでの受け入れ企業・団
体数は約30社となる。

25日に行われた報告会
は各企業・団体の担当者を
招き、学生はスライドを用
いて各事業者での体験談を

紹介。「顧客に寄り添った
提案をしたらうまくいっ
た」「周囲との協調性を学
べた」などと振り返った。

住宅設備会社でマーケテ
ィング調査に従事した大塚
みのりさん(21)は「自主的
に人と意見交換すること
で案が生まれ、意見を集約
する力も育めた」と話した。

(川畑周平)